

口 Ŧ ダ の 視点 か ら昭 和 の 建築を語る

昭和改元から間もなく100年を迎える。

東京カテドラル聖マリア大聖堂(撮影:山田新治郎)

戦前から戦後へ、そして高度経済成長期 を経て日本が飛躍的な発展を遂げた「昭 和」。その時代に憧憬を抱き、背景に流れ ていた多様なカルチャーを懐古する空気が 広がっている。

建築も時代のすう勢に呼応し、変遷を続け てきた。関東大震災からの復興に始まり、 世界大戦の敗戦を乗り越えた驚異的な再 生、そして異様な熱気を帯びながら平成 へ、建築は変わりゆくこの国の風景を形づ くってきた。

「昭和」とはどのような時代だったのか。建 築史家・倉方俊輔氏とともに、「レトロ」と 「モダン」という視点を糸口に、昭和建築 を概観する。その先に令和の建築が進む べき道が見えてくる。

09 | ACe 2025.01

10

たいのですが、その観点について整 理していただけますか。 いう視点から昭和の建築を見直し はじめに「レトロ」と「モダン」と トロ

使っていません。「イズム」である限 が、 現在を見据える建築がモダンです。 や「過去にどうあったの あり方をしていたのか、その「らし ン建築は主義主張ではなく、新し り、そこに「主義」が介在する。モダ 合理性を突き詰めた建築様式です という意味合いがある。「らしさ」 「モダン」はまさしく「たった今」 さ」に則ってつくられた建物を、レ うに存在していたのか。建築でいえ 味があります。専門的な用語では ね。その対象がこれまでにどのよ モダン建築は、機能性や経済性、 ロと評価できるでしょう。 私はモダニズム(mo 新しいものをつくろうとする。 例えば銀行や学校はどのような つまり過去を振り返るという意 雰囲気で使うことが多いです m) 建築という言葉はあまり か」を忘れ d e 一方、

1921年にフランク・ロイド・ライトが設計した学校建築、自由学園明日館。左/食堂の椅子とテーブルは、弟子である遠藤新のデザイン。右/前面の幾何学的な装飾の大き

」とはレト ロスペクテ

西洋一辺倒ではないスタイルの広が 意匠をまとわせることができまし Cはラー 材や煉瓦は構造を制約しますが、R C)の技術が急速に普及します。石 震に耐えうる鉄筋コンクリ を踏襲して、建築のカタチを決定 が起点になります。戦前は、 戦前は、日本の建築が自信を得て、 式」といった建築も登場しまし 九段会館をはじめとする「帝冠洋 風の建物に日本風の屋根を載せた する時代でした。そこに、 や煉瓦造の品格をもった「らしさ」 大正期から受け継がれてきた石造 た。建築家の腕の見せ所です。西洋

和の建築を見ていきま ています。もっとリラックスして昭 口」、戦後に始まるムーブメントが ものとして捉えられるべきだと考え 明治・大正から戦前までが「レ のを生み出そうとする現象その

界大戦を境に大きく変遷したとい われていますね。 戦前と戦後、日本の建築は第二次世 「モダン」という見方もあり ます。

昭和の建築は関東大震災の復興 メン構造の躯体に、自由に 火災や地 明治 \widehat{R}



1934年に、昭和天皇の御 大典を記念して建てられた旧 九段会館。西洋風の建物に 瓦屋根を載せた帝冠洋式の 外観が特徴。登録有形文化 財である建物を、一部保存し ながら建て替え、2022年に 九段会館テラスとしてオープン した 上/保存・復原した正面エン

感じさせるバンケットルーム

語られることが多いのですが、必ず

た。ポストモダンは反モダンとして もそうしたスタイルが姿を現しまし

11 | ACe 2025.01

建築が世界的に提唱され、日本で

トランス 下/昭和初期のモダニズムを (いずれも提供: 東急不動産

背景を踏まえながら、戦災復興から 遷しました。戦後の建築はそうした 国のあり方について反省を始め、よ 合理的かつ科学的な考え方に変 敗戦を経験した日本は、戦前 \mathcal{O}

建築が勃興したところで、日本は終

レトロから更に自立した日本の

戦を迎えます。

戦後に始まる新し

い建築

始まります。

この時代にキーワードとなるのが

しようとする志向もあり

な窓が特徴(撮影:山田新治郎)

見事に証明してみせました。 日本が国際社会に復帰したことを 目を集めました。そうした建築は、 場の第一体育館などはその象徴。複 ます。東京文化会館や東京カテドラ 空間を生み出す」ことを体現し始め 進化によって「新しい構造が新しい を走り、日本のモダン建築をけん引 流となり、世界の建築に影響を与え 建築界においてもモダン建築が主 が時代の潮流になりました。その頂 分野で、戦後復興を超えて国際社 雑かつ自由な形態は、世界的にも注 ル聖マリア大聖堂、国立代々木競技 健三らです。建築はRCの飛躍的な る建築家が登場しました。その先端 五輪や一九七〇年の大阪万博です。 点となったのが、一九六四年の東京 会に復帰しようとするムーブメント 「国際」という言葉です。あらゆる したのが前川國男や坂倉準三、丹下 その後、七〇年代からポストモダ

> か。 ないでしょう。 岐点になったということでしょ 「敗戦」が昭和のその後を占う分

う

依って立つ基盤を

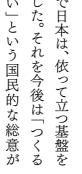


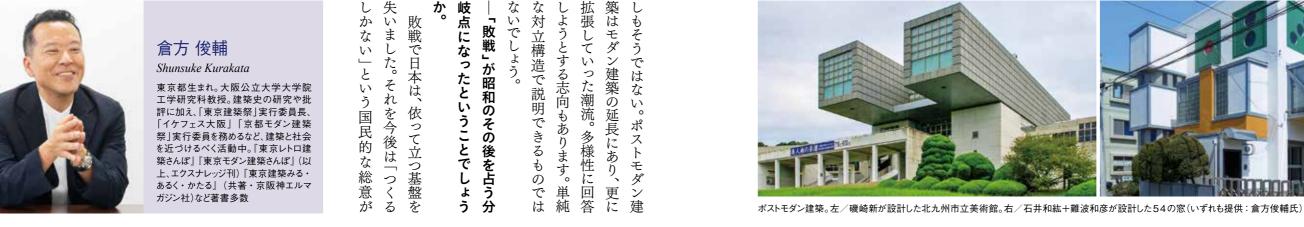
倉方 俊輔 Shunsuke Kurakata

東京都生まれ。大阪公立大学大学院 工学研究科教授。建築史の研究や批評に加え、「東京建築祭」実行委員長、 「イケフェス大阪」「京都モダン建築 祭」実行委員を務めるなど、建築と社会を近づけるべく活動中。『東京レトロ建 築さんぽ』「東京モダン建築さんぽ」(以 上、エクスナレッジ刊) 『東京建築みる・ あるく・かたる』(共著・京阪神エルマ ガジン社)など著書多数

失いました。それを今後は「つくる 敗戦で日本は、

しかない」という国民的な総意が





もそうではない。ポスト





丹下健三が設計した東京カテドラル聖マリア大聖堂。モダン建築の黄金期を代表する 教会(撮影:山田新治郎)

造に挑んでいました。 表現を駆使して新しい建築を目指 てもいい」雰囲気があれば、多様な えようとします。社会的に「つくっ を求め始め、建築家はその要請に応 なかに抽象的な表現を取り入れて、 す。モダン建築においても機能性の とは異なる地平で斬新な創

丹下健三が設計した国立代々木競技場。世界で初めて鋳鉄を構 造材に用いるなど、構造とデザインがハイレベルに融合している

(撮影:山田新治郎)

来のインターナショナルの概念が生 既にありません。アジアを含めた本 化だけに由来するという価値観は 新の時のような、「国際」は西洋文

あったのだと思います。更に明治維

まれていました。制度や憲法が整備

の仕事なんです。 えるか、それを考えることも建築家 的に「表現」しようとしていた節が 必要はなかった。設計した黒川紀章 プセルがランダムに取り付けられる あります。どうすればカッコよく見 は、建物を機能的に見せながら未来 能性だけを重視するのであれば、カ 銀カプセルタワービルにしても、 メタボリズムの象徴とされる中

的なもの、その両者に共通する事項

建築は、日本的でありながら国際

にもなっていました。

断されます。建築はそう

した評価軸

対等に話ができないと世界的に判

しか建っていなければ、この国とは

されていても、

お城のような建築物

七〇年代の建築

「昭和」のイメー 戦後から高度経済成長期を経 七〇年代に入るとまた新たな

動の時代といえますよね。ベトナム 確かに七〇年代は世界的にも激

がけん引する

に思えます。 ・ジが生まれたよう

「アンノン族」といった惹句が象徴 ・ジャパン」や

従来とは異なる価値を付与する試 性に応えようとしました。建築物に 伊藤豊雄や安藤忠雄が建築の多様 フを復活させようとする方向に動 る建築を生み出していきます。 みは、謎めいた軽やかさを感じさせ きます。例えば個人住宅において、 小規模な対象でも過去のモチー

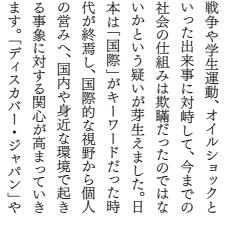
撮影: archipicture 遠山 功太

撮影: archipicture 遠山 功太

その原動力はどこにあったのでしょ となく創造を続けることができた、 にいたるまで、建築が熱気を失うこ

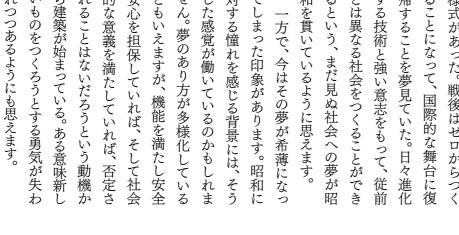
黒川紀章が設計した中銀カプセルタワービル。1972年に売り出されたわずか10㎡のマン

どのように見られているのかを意識 しなおすことが重要だと思います。

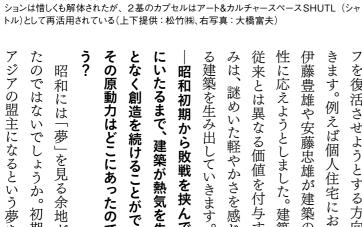


たのではないでしょうか。初期には 昭和には「夢」を見る余地があっ

> 様式があった。戦後はゼロからつく て、日本らしい様式を取り入れなが ら西洋に伍していこうとする帝冠







アジアの盟主になるという夢をもっ



れているのではないでしょうか。 にすることが、建築に改めて求めら そして建築が集積する都市景観な ではありません。住宅ならその人ら だけを中心に据えてつくるべきもの 価の対象になります。建築家が自我 に見られたいかを読み取ってカタチ らばこの国らしく。社会がどのよう しく、庁舎ならばそのまちらしく、 の眼に触れ、費用対効果も含めて評 は社会のものである限り、 ・ジを指し示しているのか。建築 多くの人

どこへ向かうのか これからの建築は の永続性があります。 がなくなることはない。そこに建築 社会的な要請が尽きない限り、課題 のものが枯渇してしまうでしょう。 課題を抽出しようとすると、課題そ から提出されます。 例えば日本は現在、人口減少とい 建築の内側から

ますが、建築として回答することは う大きな社会的課題に直面してい

できるのでしょうか?

表しているのか、この国の未来のイ

地域の伝統や歴史を

をどう することは可能だと思います。 5 存やリノベーションでは実現できな つ 思います。建物を残したり改修した 築に置き換えてい 期待できるでしょう。そうしたこと 裕のある豊かな環境になることも 積は増えていくことになります。余 \Box 資がなされていましたが、今後は人 るのか、土木的な要素も包含しなが いことに挑んでいくべきでしょう。 を念頭において、今よりも優れた建 方で一人当たりが享受できる面 が増えていくことは考えにく することがスタンダードになりつ 昭和は人口増加を前提として投 技術をバックボー ますが、これからの建築は保 谷や崖で断絶されたエリア れば接続することができ くことになると ンとして回答

建築の課題はそうした社会、外側

仙台、そうした視点を軸としてつく 点はやはり欠かせません。広場が真 られた建物や都市が、その地域を語 に判断、評価されるのかといった視 ん中にあるJR博多駅、近代的な市 続けることはとても大切なこと と歴史に育まれた杜の都である それでも地域や社会にどのよう

ル 「楽しみたい

断 て、行政と強固な連携を構築するこ との合意形成など、専門部署が横 安全性の担保やステー とは可能だと思います。 的に連携することが求められま 施主、発注者(クライアン ルを越えることが難しいでしょ それでも多様な技術を総動員し 建築も単一の技術だけではハー <u>}</u>

せん。 意識変革も求められるかもしれま

が注目される傾向がありますが、そ 目に見えるものなので「建物」だけ の背景にはクライアントの勇気ある 昭和の建築は、その意匠や構造が

次世代の大阪らしさを創出しよう 規模再開発、グラングリーン大阪も せる力が建設にはあります。 を感じます。もともと潜在していた れません。場所を使いこなすセンス はしゃぎしている。大阪がもつエネ エリアでは、噴水で子どもたちが大 とする挑戦です。既にオープンした です。JR大阪駅周辺で展開する大 大阪人の余裕の表れかも 」という欲求を浮上さ





左/JR博多駅広場(撮影:中原一隆)。右/仙台の街並み

す。そのうえで関係者と連携して意 者、デベロッパーに依存するだけで に建築物の発注者も建築家や施工 覚悟をもって真剣に向き合っていま ンディングに向けてクライアント 英断がありました。自社ビルにして ぬ熱意をもっているはずです。同様 した。今はそうした気概が失われて るいはわがまちの個性の表出、ブラ 一度のわが家の普請には並々なら 人住宅の施主にしても、 るように感じることがあります。 一行政の庁舎にしても、自社のあ 自ら考え抜くことが重要で 人生で ベ 通してまちの魅力を再発見するイ 今春開催される、建物の見学を いくべきだと考えています。

ば、必ず社会から共感を得ることが けばいい。新しい建築を実現できれ もらって、 その活力のようなものを昭和から 然りです。社会と人を信じていた、 ある。夢をもつことで体温が上がる ます。その背景にはやはり「夢」が やコトにかかわっていたように思い 動的な動機をもって、そうしたモノ でしょうか。理性よりも身体的、情 さぶられるような対象が、次から次 できるはずです。 ような感覚があり と登場した時代だったのではない 令和の文脈で実践して まし

梅田貨物駅跡地の再開発で2024年9月にオープンした、都市公園併 設型の複合商業施設グラングリーン大阪。オープン初日は気温も高く、水 遊びをする子どもたちで賑わいをみせた(提供:UR都市機構)

和にどのようなイメージをもって だきたいと願っています。 ライアント目線で改めて感じていた 加、参画していただきたいと考えて の催しではクライアントにも多く参 は実行委員長を務めていますが、こ ます。建築の楽しさや意義を、ク 見た瞬間、触れた瞬間に心を揺 そもそも「昭和」とは。先生は昭 「東京建築祭2025」で私 た。建築も

見を戦わせながら、建築物をつくり





東京建築祭2024の様子。2024年5月の週末2日間、普段は公開されていない建築の無料公開やガイドツアーが開催され、延べ6万5,000人が訪れる大イベントとなった (提供:東京建築祭)

14 15 | ACe 2025.01

店です」と倉方氏は話す。 本で初めてパリに肩を並べた百貨 一九二三年の関東大震災で被災

昭和初期の建築技術の集大成だと の後も増改築が行われているが、重 建てのSRC造として再生した。そ 評価する。「当時最先端のSRCに 受け継ぐ。倉方氏はそのすべてが、 要文化財の指定を受ける本館の東 た鉄骨や床スラブを活用して、七階 の五階建ての旧店舗は、延焼を免れ 側と北側の外観は、今も当時の姿を 九二七年に竣工。鉄骨と煉瓦造 たが、翌年から工事に着手し、





れた百貨店は、当地の紳士淑女を魅 が壮観です。一九世紀のパリで生ま

しました。日本橋三越本店は、日

1)正面玄関のライオン像が来訪者を出迎 える。2)屋上の金字塔。3)内部の豊かさが溢れ出したような装飾。4)創建当時 の外観(提供:(株)三越伊勢丹)



匠を取り入れ、様々な様式が融合す

足を運んでみ

てはいかがだろうか。 る日本橋三越本店に、 晴らしい時間と空間を提供してく ワクワク感が、今でも体験できる素

れます」と倉方氏。常に最先端の意







10)内階段の木製手すり。11)意匠性の高い照明器具。12)大理石の中にはっきりとわかるアンモナイト。13)エレベーターの装飾。14)レトロなエレベーター

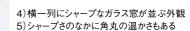
ど、世界の多様な様式を混合してい 設技術を総動員して西洋や中東、 間を実現しました。意匠も昭和の建 いえる建物です」。 に進化した、わが国建築の完成版と 感じさせませ る。にもかかわらず、全く違和感を って、視覚的にも抜け感のある空 ん。明治から昭和初期 デコ調な

改装された。歴史を感じさせる重厚 を受け止めている建物。昭和初期の 石が隠れる大理石の壁面。館内を巡 るエレベー のエスカレ 楽しむだけの施設ではない。日本初 な建築物の内部に柔らかな光を放 ザインにより、内観は本館一階を中 るごとにレトロな感覚に包まれる。 つ森がある。もはやショッピングを 心に「白く輝く森」をイメージして 「人々が求める非日常に対する憧れ 二〇一八年、 ター、アンモナイトの化 ータ ー、国内二例目とな 隈研吾氏の環境デ

17 | ACe 2025.01







オフィスビルの中で街路が交差す

格な高さ制限があり、階数を増や 随所に施されている。建設当時は厳 適なひと時を過ごすための工夫が ビルの一つだ。横連窓や過剰な装飾 竣工は一九六三年。地上九階、地下 中に街並みをつくっています。現在 たという。倉方氏はこう説明する。 引き込もうとするコンセプトがあっ の圧迫感を抑制する試みとしてオ すために階高が低く設定された。そ ら一方で内装には人を迎え入れ、快 流を受け継ぐ。機能性を追求しなが を排除した外観は、モダン建築の源 済成長期を象徴する複合オフィス 四階、RC造のこの建物は、高度経 を訪れるとそんな感覚に捉われる。 よりも、都市と建物の密接な関係性 「街路を建物に引き込んで、建物の ィス街の街路をそのまま建物に 丸の内に佇む新東京ビルヂング

1)東西南北に走る共用通路。天井に幾何学的な照明器具が灯る。2)手すりの装飾。3)外部との境をモダンな全面ガラスにすることで碁

Name of the last



STARBUCKS

盤目の街路を引き込んでいる

生産の手すりを設えたり。公共性を を施したり、丁寧につくられた一品 を重視している。壁面にモザイク画

考慮した戦後の民主的なビルを建



6) 1 階エレベーターホールの 壁面には矢橋六郎作のモザイク画「彩雲流れ」が施されている。7)2階エレベーターホー ル。階高の低さをスリットの照明 が緩和している

8) 曲線をもった金属の手すりは、意 匠性もさることながら、手にやさしく フィットし機能性も高い。9)エレベー ターホール脇の石張りの階段





COMPRESSED TO SECTION

強く感じられます」。 てようとするクライアン

指摘する。 会と人を信じるべきだと倉方氏は のだと思います」。令和の建築も社 りぎり装飾的な意匠を施したこと 的でありながら素材感を生かし、ぎ 通り抜けても大丈夫なのだと。機能 えることができ、一般大衆が建物を 構造は、保安上の課題が少なくな も、そうした民主的な発想によるも 「現在よりも社会を信じていたのだ 多数の来街者が自由に往来できる せる建物であれば、人々に喜びを与 い。しかし、この昭和の建築にはそ と思います。社会に期待と夢を抱か オフィスビルである限り不特定 した判断が希薄な印象がある。

は、二〇二〇年代における丸の内エ 東京ビル」。オフィスワー ではなく、すべての来街者に開か のコンセプトは「人を惹きつける新 東京ビルヂングも順次改修中だ。そ アルプロジェクトを進めている。 リアのまちづくりを「丸の内NEX た楽しめるビルを目指 所有者である三菱地所グル ジ」と位置づけ、 している。 カー リニュー だけ 新 れ

19 | ACe 2025.01

オフィスビル 街路を取り込んだ